八ヶ岳ジャーナル

株式会社ピー・エス・ワイ
八ヶ岳ジャーナル編集部
発行責任者　小泉　徹
北杜市須玉町若神子 3931
TEL0551-45-7789
FAX0551-35-9200

第　774　号　　2026年11月1日（1）

1982年12月創刊　　発行日：毎月1日と16日発行

発行地域：北杜市（明野町・須玉町・高根町・大泉町・長坂町・小淵沢町・白州町・武川町）

地域計画認定シンポジウム

文化財とまちづくり

総合的な保存と活用へ



文化財保存活用地域計画の取り組みについて語る山梨大学の菊地准教授

指定・未指定に関わらず、地域の文化財を総合的に捉えて、一体的な保存、活用の方針を示した「北杜市文化財保存活用地域計画」が文化庁に認定されたことを受け、北杜市は10月25日、「未来へつなぐ 北杜の歴史文化」と題したシンポジウムを武川町の甲斐駒センターせせらぎで開いた。

この計画は、人口減少や少子高齢化、価値観の多様化などで文化財保護を取り巻く環境が大きく変化するなか、文化財を周辺の環境や景観、人々の生活文化などと一体として捉えることで、多面的な活用を引き出し、まちづくりに生かすことを目的にしている。

シンポジウムでは、山梨大学大学院総合研究部の菊地淑人准教授による基調講演が行われ、菊地さんは、地域総がかりで文化財を保存、活用するための新たな体制の意義を解説し、「文化財を総体的に捉えることで、その地域が持つ固有の歴史文化が浮き彫りになってくる。それが地域の個性であり、まちづくりの道標となる」といい、「文化財で地域を遊ぶという感覚で、楽しみながら保存と活用の循環を生み出す多様な取り組みを考えていくことが大切」と語った。

北杜市の同計画では、国・県・市指定文化財の208件と未指定文化財の約2万件を整理し、歴史文化の特性を①豊かな自然と黒曜石交易が生んだ縄文文化②逸見・武田・徳川が重なる城館跡③信仰と生業の舞台となった山④恵みと災いの二面性を持つ水⑤甲州と信州を結ぶ2つのルート⑥暮らしを共にしてきた馬の6つにまとめている。

同日のシンポジウムで市学術課の職員が説明に立ち、北杜市は神楽や獅子舞といった民俗芸能が盛んで、県内90カ所に伝わる神楽のうち、40カ所は北杜市内にある一方、担い手不足が課題となっており、継承に向け、無形民俗文化財連絡協議会の発足などを計画していることを紹介し、「多くの市民と協働して、指定、未指定の文化財をはじめ、地域に伝わる昔話や伝承、人物の事績なども『ほくとの宝』として捉え、守りながらまちづくりに生かしていきたい」と協力を呼びかけた。

また、同日は、一般社団法人八ヶ岳ツーリズムマネジメントの小林勉代表理事、金精軒製菓株式会社の小野光一代表、NPO法人茅ヶ岳歴史文化研究所の佐野隆主任調査員を迎えたパネルディスカッションが行われた。白州町台ヶ原に伝わる「虎頭の舞」やJR清里駅前に設置されている蒸気機関車C56、明野町にある国史跡の梅之木遺跡に関する保存、活用の取り組みを共有し、展望を語り合った。

アンダーパス拡幅工事

早期完成を要望

主要地方道茅野北杜韮崎線における長坂町長坂上条地内のJRアンダーパスについて、大柴邦彦市長は10月23日、県庁を訪れて、長崎幸太郎知事に拡幅工事の早期完成を求める要望書を提出した。

同所は、長坂総合支所から南側に下った信号の先にあるJR中央本線のアンダーパス。道幅が狭く、大型車がすれ違うことができないなど、通行に支障をきたしているとして、地域住民から道路整備を求める声があり、昨年に工事に着手した。現在は、アンダーパス西側の道路改良などが進められている。

同日は、大柴市長をはじめ、北杜市議会の大芝正和議長、峡北地区建設業協会の田中新也会長など5人が出席し、大柴市長は、茅野北杜韮崎線が地域の多面的な役割を担う極めて重要な路線であることに触れながら、「長坂・高根エリアは新設統合中学校や新庁舎整備基本構想の建設候補地になっており、さらなる交通量の増加が見込まれる」などとして、早期の完成を求めた。（写真）





「晩　秋」
Canon EOS R6　35mm
S:1/320　F:8

ZOOMアイ

北風写真倶楽部
撮影：清水　博美

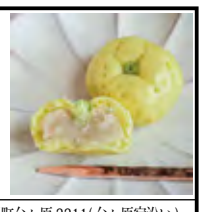
北杜市の地域新聞

八ヶ岳ジャーナルは、北杜市を対象にした地域新聞です。広告掲載各社のご協力により、毎月1日と16日の2回、北杜市内に配布しております。ニュースの提供及び、各種情報、広告掲載の申し込み、また、定期購読（年間4,000円）をご希望の方は、小社まで。

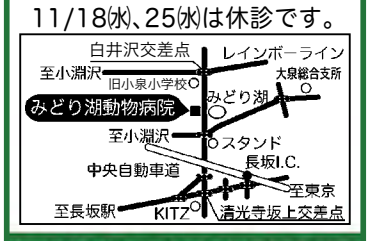
八ヶ岳ジャーナル編集部　☎0551-45-7789

心から納得のいく
補聴器選びを
お手伝い。
補聴器
体験会
地元の店だから安心です。
長坂ＩＣきららシティ内
メガネの北杜
☎0551-32-8156

駅そば
うまい・やすい・早い
三拍子
甲府北口店、韮崎駅、長坂駅
小淵沢駅、富士見駅
駅弁の丸政
お弁当・料理を承ります。
スタッフ募集中
お気軽にお問い合わせ下さい。
Tel 0551-36-2521


香り高いよもぎと
優しい甘さのこしあん
草だんご　180円
爽やかな柚子の
香りが上品
柚子饅頭　194円

金精軒
白州町台ヶ原2211(台ヶ原宿沿い)
☎0120-35-0518

AKUTSU DC
阿久津歯科医院
院長　阿久津 司郎
健康な歯を大切に
予防歯科受付中!
長坂町長坂上条2083
Phone0551-32-2175
Fax　0551-32-7300
◆休診日：木・日・祝日◆

長坂町白井沢2949-5
みどり湖動物病院
診療時間　午前9:00～12:00
午後4:00～ 7:00
休診日　木曜、日曜、祝祭日
11/18㈬、25㈬は休診です。


TEL0551(32)3339
お待たせさせないため予約の方優先とさせていただいております

小淵沢町で育って58年
スタッフ募集⬆
株式会社 鈴建
株式会社 鈴建一級建築士事務所
山梨県北杜市小淵沢町451
TEL 0551(36)3011(代表)
FAX 0551(36)4141
URL https://net-suzuken.com

まちチラ

11月1日号

市内のイベントなどの電子版折込チラシです。

イベント・募集チラシ

詳しい情報は、下のチラシをタップしてください。



浅尾ダイコンまつり



子ども環境フェスタ



メモリアルコンサート



みらい創生



歴史散策ウォーキング

オオムラサキセンター
「薬にたつ昆虫展」
50種の用途や利用法を紹介



昆虫が薬としてどのように使われてきたのか、標本とパネル展示で紹介している

かつて日本各地で薬として利用されてきた昆虫を紹介する「薬（やく）にたつ昆虫展」が、長坂町の北杜市オオムラサキセンターで行われている。標本やパネルで約50種を展示し、さまざまな用途や利用法を解説している。会期は来年の3月31日まで。

同センターによると、薬用昆虫はこれまで常設展示の一部で紹介していたが、来場者からの関心が高く反響もあったことから、今回初めて一堂に紹介する展示を企画した。

同展では、子どもが興奮して夜泣きやかんしゃくなどを起こす「疳（かん）の虫」や喉の痛み、腹痛、虫刺されなどに効果があるとされるバッタやハチ、ガ、ゲンゴウロウ、クワガタといった昆虫を取り上げて、各地域での利用方法を紹介。

イナゴは、炒って食べることで疳や咳止め、解熱に効果があるとされ、オオスズメバチについては、宮崎県では塩漬けにした幼虫やサナギを煎じて飲み、下痢止めとして利用、三重県では難聴に効果があるとして巣を煎じて服用していたという。

また、山梨県では、ゲンジボタルの成虫を乾燥粉末にして米と練って傷に貼り付け、岡山県では、セミの抜け殻に天草を加えて煎じたものを服用して便秘を改善していたとされ、昆虫をそのまま食べるだけではなく、乾燥や蒸し焼き、薬用酒に漬け込むなど、さまざまな方法で利用していたことを紹介する。

冨樫和孝館長は、「昔の人が工夫を凝らして昆虫を利用していたことを通して、自然とのつながりや恵みを知ってもらえたらうれしい」と話している。休館日は月曜日。問い合わせは☎32・6648まで。

絹糸がつむぐ音色
富士山芸術祭 各地で開催

県内各地で行われている「富士山芸術祭」の一環で、10月24日、長坂町の平山郁夫シルクロード美術館を会場にして、絹糸を使ったオリジナル楽器「ストリングラフィ」のコンサートが開かれた。

ストリングラフィは、1992年に作曲家の水嶋一江さんによって考案された楽器で、糸電話の原理を応用しており、ピンと張った最長19㍍の絹糸の一本一本に音階をつけてメロディーを奏でるというもの。

同日は、ストリングラフィ演奏家の鈴木モモさんと音楽家の永井朋生さんが演奏を披露した。鈴木さんと永井さんは、共鳴体の紙コップを絹布の太鼓に変えた派生楽器「ITONE」の開発も手がけており、ストリングラフィとITONEの共演で、絹糸がつむぐ豊かな音色を会場に響かせ、来場者を魅了した。

富士山芸術祭は、山梨県にゆかりのあるアーティストが県内各地の歴史文化施設で表現活動を行うイベントで、今回で2回目を数えた。今年のテーマは「生きる」で、11月15日まで、絵画や造形、写真、書道など、約50人の芸術家が17の施設で作品展示やパフォーマンスを行っている。

市内では、同美術館で石田泰道さんとhellowakanaさんが展示を行ったほか、須玉町の工藤耀日美術館（11月3日まで）と高根町のポール・ラッシュ記念館（11月15日まで）でも開かれている。


ストリングラフィを演奏する鈴木さんと永井さん

源清光の歴史
清光寺で講演会

武田氏の祖先といわれる「甲斐源氏」の源清光が創建したとされる長坂町の清光寺で、11月27日、山梨県立博物館の守屋正彦館長を迎えた講演会「甲斐源氏、武田氏をつくる～源清光」が開かれる。

源清光は、平安時代の名将・源義光の孫で、父の義清とともに常陸国から甲斐国に移り住み、やがて甲府盆地一帯に本拠を築いて甲斐源氏の基礎を固めた人物として知られている。

同寺檀家総代長の小沢龍一さんは、「山梨県の骨格を形成した甲斐源氏は、全国津々浦々に守護大名として配置され、鎌倉幕府の誕生とともにサムライ文化が誕生した。広く歴史を知ってもらえたら」と話している。

午後1時受け付け開始で、参加費は無料。詳細は☎32・2263まで。

人 ひと

やりたい〝に向き合う
大泉町　小尾 こうた さん



大泉町で音楽の生演奏が楽しめる飲食店「cafe BIRDLAND yatsugatake」を経営する小尾こうたさん（51）は、ジャズミュージシャンであり、イベントの企画運営、通訳翻訳、電気工事、さらには農業アドバイザーまで多彩な顔を持つ。培った経験と知識をあらゆる仕事へと昇華させ、情熱の赴くままにやりたいことを形にし続けてきた。

栃木県出身で、母親の影響で幼少期から音楽に傾倒し、20歳で米国・ハリウッドに渡った。音楽専門大学に通いながら路上演奏からキャリアをスタートさせ、着実に実績を重ねてレストランやバーへと演奏の場を広げ、友人と自主レーベルを設立。音楽を通してさまざまな国の文化や価値観に触れ合った。

音楽活動の傍ら、ロサンゼルスの大学で物理学を修め、30歳で帰国。日本の電力会社で機器開発に従事するも、東日本大震災をきっかけにエネルギーのあり方を再考して農業へ転身した。研究所で遺伝子組み換えや栽培技術の開発などに携わり、45歳のときに退職して妻の古里の北杜市に移住した。

カフェバードランド八ヶ岳では、これまでのつながりを生かしてさまざまなミュージシャンを呼んだり、ウクライナ出身のアーティストを迎えたチャリティーコンサートを企画。音楽に親しんでもらおうと、地域のカフェや子育て家庭に無償で楽器を提供するほか、「八ヶ岳北杜ＪＡＺＺ協会」を発足して市内各地での演奏会も精力的に行っている。

また、盆踊りやコスプレイベント、ＪＲ甲斐大泉駅前でのビアガーデンを企画するなど、活動の幅を広げている小尾さんは、「自分にできることで人に喜んでもらえることはできる限りやりたい」といい、「若い人が夢や希望を持てる地域をつくっていきたい」と意気込んでいる。

～北杜市の人口～（10月1日現在）※外国人登録者含む

明野町			長坂町			武川町		
男	2,069	(-7)	男	4,230	(0)	男	1,355	(-1)
女	2,129	(-2)	女	4,443	(-8)	女	1,446	(+2)
計	4,198	(-9)	計	8,673	(-8)	計	2,801	(+1)
世帯	2,047	(+1)	世帯	4,498	(-2)	世帯	1,346	(+2)
須玉町			大泉町			小淵沢町		
男	2,576	(+4)	男	2,596	(+1)	男	2,871	(0)
女	2,603	(0)	女	2,831	(+4)	女	2,973	(+4)
計	5,179	(+4)	計	5,427	(+5)	計	5,844	(+4)
世帯	2,605	(+8)	世帯	2,795	(-1)	世帯	3,074	(+7)
高根町			白州町			北杜市全体		
男	4,365	(0)	男	1,719	(-5)	男	21,781	(-8)
女	4,583	(-10)	女	1,741	(+1)	女	22,749	(-9)
計	8,948	(-10)	計	3,460	(-4)	計	44,530	(-17)
世帯	4,412	(0)	世帯	1,784	(-1)	世帯	22,561	(+14)

◆持ち帰り・出前・法事弁当◆
ご予算に合わせて予約承ります
食房 うな松さくら寿し
長坂町長坂上条 2582-1
tel.0551-32-2202

●住宅設備機器●冷暖房●空調●給水●給湯●排水工事●ＬＰガス機具
株式会社 ひらやま
北杜市高根町箕輪五八一
☎(47)2158 FAX(47)4548

修理 お伺いします。
家電製品の修理に関するご相談、お気軽にどうぞ。メーカーはどこでもＯＫ。
家電製品の販売・修理・工事
SHIPS-21チェーン
フジモリ電気
長坂町大八田 5578
TEL32-7667 FAX32-5677

ココロも満タンに
コスモ石油
ご来店お待ちしております。
(有)坂本商事
定休日：日曜日
長坂町小荒間１９７８
TEL（32）3132

法定 12 カ月点検のすすめ


エンジン関連やブレーキ関連など
約 30 項目の点検です。
◆点検サービス　いずれかをお選びください
①下回りのスチーム洗浄、②Fr ガラス撥水コート
普 通 車　¥11,000.-（税込）
軽自動車　¥8,800.-（税込）
◉ 点検を行うと、季節タイヤの交換費用はかかりません。入庫時にスタッドレスタイヤをお持ちください。 ◉
(有)アサカ自動車　☎0551-47-3333
高根町村山東割1504-1　11月のお休みは、1(日)、3(火)、8日(日)、15(日)、22(日)、23(月)、29(日)

北杜市社協まつり
福祉活動を表彰


福祉ポスター表彰で、北杜市社会福祉協議会の坂本会長から表彰状を受け取る子どもたち

地域の福祉活動を身近に感じてもらおうと、高根町にある北杜市社会福祉協議会は10月17日、「北杜市社協まつり」を開催した。市内でボランティア活動に取り組む団体の表彰や活動発表が行われ、家族連れなどでにぎわった。

開会のあいさつに立った北杜市社会福祉協議会の坂本正輝会長は、「少子高齢化や人口減少が進む中、住民が互いに支え合い、安心して暮らせる人と人とのつながりがなによりも大切になっている。市民の交流と絆を深めていきたい」と語った。

表彰式では、社会福祉施設における勤続10年以上の職員や5年以上活動するボランティア団体の表彰を行ったほか、金品寄付団体への感謝状を贈呈。福祉やボランティアをテーマにした「福祉ポスター」には、市内の小・中学生396人から応募があり、最優秀賞と優秀賞の計8人を表彰した。

また、同日は、生活困窮者や一人暮らしの高齢者、障がい者世帯を対象に部屋の片付けや庭の草刈りといった作業を無償で行う「男ボラ北杜」の活動発表やデイサービスで慰問活動を行う「ココペリ」のサックス演奏が行われたほか、さまざまな福祉活動の展示や相談コーナー、子育て広場が設けられ、キッチンカーも並んだ。

◆表彰の結果
◇北杜市社会福祉協議会会長表彰
▼民間社会福祉施設役職員【社会福祉法人愛寿会】植松雄樹、堀内政輝、斉藤綾、小池明子
▼ボランティア活動団体　男ボラ北杜
◇北杜市社会福祉協議会会長感謝状
▼金品寄付団体　真如苑長坂記念館、長坂親睦ゴルフ大会実行委員会
◇福祉ポスター表彰
▼小学生の部▽最優秀賞　奥田匠（小淵沢小4年）▽優秀賞　小沢晴仁（長坂小4年）、堤萌（同）、鳥居琳（武川小4年）
▼中学生の部▽最優秀賞　浅川実穏（高根中1年）▽優秀賞　中山一葉（長坂中1年）、千野琉花（泉中1年）、牛久綾乃（小淵沢中1年）

部活動とスキンケア
アルソアが高校生応援企画

部活動に励む高校生を応援しようと、化粧品の研究開発などを手がける小淵沢町のアルソア慧央グループは10月14日、同町の私立帝京第三高等学校バレーボール部の生徒約30人を対象にして、スポーツとスキンケアを学ぶアルソア・ＶＣ山梨「バレーボール＆石けん洗顔教室」を開催した。

この活動は、アルソアの新ミューズにバレーボール女子日本代表の佐藤淑乃さんが就任したことに合わせて企画したもので、同日は、佐藤選手のメッセージ動画を上映したあと、アルソアがスポンサー契約を結んでいる男子バレーボールチーム「ＶＣ山梨」の選手5人によるバレー教室が行われた。


アルソアの社員から洗顔の泡立て方を学ぶ高校生たち

石けん洗顔教室では、アルソアの社員が肌の仕組みから正しいスキンケアの重要性、洗顔の方法を説明し、同社の固形石けんを使って、キメが細かく、弾力のある泡づくりに挑戦したり、肌に優しい洗い方を学んだ。

参加した同校バレーボール部キャプテンの郷野日和さん（3年）は、「2段トスやボールの見切り方、体の使い方などを分かりやすく教えてもらい、部活後の洗顔の重要性も学ぶことができてよかった。実践していきたい」と話した。

環境フェスタ14日に開催
楽しく学ぼう

地域の子どもたちに環境保全の取り組みを楽しく学んでもらおうと、北杜市と北杜市地球温暖化対策地域協議会（グリーン北杜）は11月14日、「第17回北杜市子ども環境フェスタ2026～次世代の杜へ～」を北杜市高根体育館で開催する。

今年は、ＳＤＧｓの取り組みを推進する市内外の24団体が参加して、太陽電池づくりやシカの角を使ったストラップづくり、名水の飲み比べ、水素・燃料電池ラジコンカーの乗車体験などを提供する。

また、自然環境に関する研究発表会を新たに設け、川の水質や生き物調査を行っている市立高根東小学校や日照時間の記録を続けている同明野中学校のほか、市立甲陵高等学校ＳＳＨ研究班、私立帝京第三高等学校科学部などの生徒たちが登壇する。

そのほか、「華風舞姫」によるよさこいパフォーマンスや「明野少年少女合唱団」の合唱披露などが予定され、飲食の出店や消防車、パトカーの乗車体験も行われる。

グリーン北杜の篠原充会長は、「今年は、さまざまな体験を用意しているほか、小学生から中高生まで幅広い活動を紹介する研究発表会もあるので、より多くの人に参加してほしい」と話している。

午前9時50分開会。問い合わせは☎42・1341まで。

やまびこ

■あおぞらフェスタ
白州町のＮＰＯ法人難病のこども支援全国ネットワークでは、11月15日に「秋のあおぞらフェスタ」を予定している。午前6時からは「熱気球搭乗体験」を予定し、8時30分からオープニングを開く。会場では室内プラネタリウム、ワークショップ、マルシェ、消防車両展示などを予定している。問い合わせは☎35・9111まで。

■北杜市文化祭
11月7、8日に須玉ふれあい館を会場にして「第20回北杜市文化祭」が開かれる。絵画や書、写真、手芸などの展示のほか、日本舞踊やダンス、合唱が発表される。詳しくは☎42・1405まで。

■スイーツマルシェ
須玉町の遠照寺で、11月1日の午前10時～午後4時まで、「遠照寺スイーツマルシェ」が開かれる。イラストレーターのマリワさんと住職で企画した「お守り」4種を披露することにしているほか、秋の味覚が楽しめる店やアクセサリーなど、26店舗が参加する。問い合わせは☎080・5062・1868（内藤）まで。

■そばと温泉巡り
北杜市と長野県富士見町、原村エリアが参加して新そばを楽しむ「そばと温泉巡り」（同実行委員会の主催）が、2027年3月31日まで開かれている。詳細は左のＱＲコードから。



■森のアトリエ仲間展
八ヶ岳や南アルプス、富士山など、四季の景色を描いている20人の作品を紹介する「スケッチ淡彩画＋油彩画『森のアトリエ仲間展』」が、11月5日～9日まで、長坂インターチェンジ前のショッピングセンターきららシティで開かれる。入場は無料。問い合わせ☎０８０・９０８５・６３３３（安田）まで。

■古本交換市
小淵沢町の生涯学習センターこぶちさわ（秋）が開かれる。読書文化を広める活動で、本の交換を通じた交流を図る。午前9時30分～午後2時まで。問い合わせは☎０７０・４３３２・１５８０（佐藤）まで。

■公開研修会
ＮＰＯ法人在宅ホスピスボランティアきぼうでは、11月28日に「八ヶ岳で最期まで～『老いと死』をこの地で迎えるための知恵～」と題した公開研修会を長坂コミュニティ・ステーションで開く。講師は医師の川越厚氏。参加無料で要予約。午後1時30分開会。申し込みは左のＱＲコードから。



■詩と版画展
長野県富士見町のギャラリーツインバードでは、11月29日まで「詩と版画展」を開いている。開廊日は金曜～日曜日の午前11時～午後5時まで。問い合わせは☎０９０・１９８９・１６８２（藤田）まで。

■秋の文化祭
長坂町のたんぽぽ食堂で、11月27日、28日に「第3回つながる秋の文化祭」が予定されている。繕い物倶楽部やクラフトカフェ、クレッシェの刺しゅう、ウォルドルフ人形など手仕事作品を紹介する。入場は無料で午前11時30分開会。問い合わせは☎45・６８９０まで。

■感謝祭×地域食堂
11月15日に、長坂町のたんぽぽ食堂で「感謝祭×地域食堂～たんぽぽ芋煮会をしよう！」が開かれる。おにぎりやみそ田楽、五平餅などを用意する。参加費は200円（マイ皿、マイ箸、マイカップ持参）。午前10時～午後2時まで。問い合わせは☎45・６８９０まで。

■リシプロカル展
須玉町の津金学校で、11月8日まで「秋のリシプロカル展」が開かれている。イラストや布団生地綿アート、松ぼっくりアートなど。問い合わせは☎20・７１００まで。

■コーヒーフェス
長野県野辺山の国立天文台野辺山宇宙電波観測所で、11月14日、15日に「長野コーヒーフェスティバル2026in野辺山」が開かれる。午前10時～午後4時まで。詳しくは左のＱＲコードから。

★スペイン音楽
12月6日、高根町の八ヶ岳やまびこホールで「―サグラダファミリアに響け―平和の祈りスペイン音楽」が開かれる。出演は鈴木羊子（ピアノ）、広瀬かおり（ソプラノ）、ジュピター合唱団。入場料は2500円（ペア券4000円）。午後1時30分開場。チケットは八ヶ岳やまびこホールなどで扱っている。問い合わせは☎０９０・６８９３・３５５まで。

■自然観察会
八ヶ岳野鳥クラブでは、11月13日に「第5回自然観察会長坂周辺」を開く。長坂総合支所駐車場に午前9時集合。問い合わせは☎０８０・６５３８・２２２４（竹内）まで。

■シクラメン販売
県立北杜高等学校では、11月2日から「秋のシクラメンと花壇苗の販売」を開始する。午前9時～午後3時まで。会場は北杜高校農場。問い合わせは☎０９０・４０２９・１４９５（小野）まで。

■己書受講者募集
日本己書茶夢道場の樋口さゆり代表は、ササキニコリや甲府市などで己書の講習会を毎月開いており、参加者を募っている。受講料は2200円（初回1100円）で、手ぶらでの参加可。問い合わせは左のＱＲコードから。



★オルガンコンサート
山梨英和中学校・高等学校のグリンバンクチャペルで、11月7日に「創立140周年記念オルガンコンサート」が開かれる。入場は無料で午後1時30分開場。問い合わせは☎０５５・２５２・６１８７まで。

■秋のメイクアップ
11月1日にＪＲ清里駅前で、「Ｃ56メイクアッププロジェクト」が開かれる。午前10時からＣ56の清掃活動、写真展示、ワークショップなどを予定している。問い合わせは☎20・８０００まで。

★アドベントの音楽
11月28日、合唱団「甲府コレギウム・アウレウム」による「アドベントの音楽～バッハ＆ヘンデル～」が、高根町の八ヶ岳やまびこホールで開かれる。入場料は499円（小学生以下無料）で午後1時30分開場。問い合わせはメールkabe.6484@icloud.comまで。

皆さんの声援が選手の励みになります。応援待っています。

第21回 北杜市駅伝競走大会
2026年11月8日(日)　午前10時スタート

※大会当日はコース周辺で一部交通規制を行います。ご理解とご協力をお願いします。主催：北杜市スポーツ協会

1区小淵沢小学校正門～大井ヶ森公民館	着10時10分頃
2区～はっぴいタウン大泉	着10時24分頃
3区～ＪＡ梨北八ヶ岳営農センター	着10時34分頃
4区～高根総合支所	着10時43分頃
5区～高根総合グラウンド・テニスコート	着10時52分頃
6区～県道箕輪須玉線三叉路	着11時2分頃
7区～須玉小学校	着11時17分頃
8区～北杜市役所	着11時27分頃

ポール・ラッシュ祭開催

「盆ジョヴィ」で会場が一体に

高根町の清泉寮前広場で10月17～18日、秋の収穫に感謝する「ポール・ラッシュ祭～八ヶ岳カンティフェア～」が開かれた。今年は来場者参加型のステージパフォーマンスが多く企画され、会場が一体となってイベントを盛り上げた。



ポール・ラッシュ祭で初めて開催された「盆ジョヴィ」を楽しむ参加者たち

清泉寮を運営するキープ協会や北杜市など5者で構成する同祭り実行委員会が主催するもので、今年は、地元の食材を使った飲食やクラフト作品、農産物の販売のほか、国際交流などに関する45のブースが並んだ。

17日は、伝統的な日本の民謡踊りと洋楽のロックが融合した話題の盆踊りスタイル「盆ジョヴィ」が初めて行われた。日本民謡協会教授の鳳蝶美成さんとDJセリーさんが登壇し、「国境や世代を超えて一緒に踊りましょう」と、日本の民謡やポップス、米国ロックバンドのボン・ジョヴィの楽曲を流し、子どもから大人まで多くの人が踊りながら楽しんでいた。

そのほか、清里の開拓に貢献した米国ディア&カンパニー社のジョンディアトラクターによるパレードや「清里開拓の父」と呼ばれるポール・ラッシュ博士の医療ケアを担当した経験を持つ、聖路加国際大学学長の堀内成子さんを迎えた特別講演「日本を愛した生涯—ポール・ラッシュに学ぶ：人々に模範を示す」などが行われ、清里の歴史や文化、暮らしに触れる2日間となった。

同カンティフェアは、昨年、コロナ禍から6年ぶりに再開した。キープ協会の担当者は、「持続可能な取り組みにするため、今年はより多くの若者に協力してもらった。今度も活動を継続し、ポール・ラッシュ博士の精神を引き継いでいきたい」と話している。

名水卓球大会

白熱ラリー　196人が参加

白州町の北杜市白州体育館で10月18日、「白州町名水卓球大会」（同卓球大会実行委員会、白州町卓球スポーツ少年団の主催）が開かれた。県内の園児や小・中学生の196人が参加し、熱戦を繰り広げた。（写真）

この大会は、地域の子どもたちが卓球に親しめる環境をつくろうと、白州町卓球スポーツ少年団の設立15周年に合わせて始まったもので、今年で30回目を数えた。



試合は、男女別の小学4年生以下、6年生以下、中学B級の8部門で、予選リーグや決勝トーナメントが行われ、選手たちは強い回転をかけたサーブや鋭いスマッシュなど、白熱したラリーを展開した。

山梨県卓球協会の会長で、白州町卓球スポーツ少年団の発起人の山田かづきさんは、「長年の積み重ねで卓球文化が地域に根付いてきた。（同大会経験者の）子どもたちが成長し、今では指導者や大会の実行委員になっている。今後も継続していきたい」と話した。

9条講演会

「憲兵だった父」　倉橋さんを迎える

北杜9条連絡会では、10月11日に「憲兵だった父のお詫びを中国へ～今こそ平和を守りたい」と題した講演会が須玉ふれあい館で開かれ、約50人が耳を傾けた。

この講演会は、憲兵だった父親が、自らの反省を墓石に刻んで欲しいと遺言したことで、娘で講師の倉橋綾子さんが悩み、行動した出来事を紹介するもので、「父は何を詫びているのか」と行動した出来事が語られた。（写真）

また、2000年に中国に渡った倉橋さんは、南京の虐殺記念館、北京の抗日戦争記念館のことや父がいたという石門子村を訪ね、3人の慰安婦に会ったことなどを紹介し、「父の遺言を40年抱えてきたが、いまだに近隣諸国に真の謝罪ができていない」と語った。



「まろやかな甘さ」

明野産サツマイモの魅力

明野町下神取の築160年の古民家を活用し、今年9月にカフェ「天狼座（てんろうざ）」をオープンした若林正樹さん（54）は、明野で育ったサツマイモの「あけの金時」や「紅はるか」、「シルクスイート」を使ったスイーツやカレーを提供している。

若林さんによると、茅ヶ岳の麓の火山灰土で育った明野のサツマイモは、キメが細かく、まろやかな甘さが特徴。遠赤外線の低温で1時間半ほどじっくり火を通すことで、羊かんのようななめらかでねっとりとした舌触りに仕上がるという。


焼き芋の上にカスタードクリームが乗った「ヤキイモブリュレ」

焼き芋にカスタードクリームを乗せ、表面に砂糖をかけて香ばしく炙った「ヤキイモブリュレ」（税込600円）が人気で、宮古島の雪塩をアクセントに添えており、パリッとした食感や焼き芋とクリームのなめらかな甘味のハーモニーが楽しめる。

また、ブラックカカオを使ったコク深いカレーにホクホクの大学芋を乗せた「大学芋カレー」（1200円）のほか、名物のハムエッグカツといった洋食も提供する。

若林さんは、以前甲州市で洋食屋を営んでいたが、コロナ禍などの影響で閉店。4年ほど前に焼き芋の販売を手伝ったことをきっかけに、規格外サツマイモの活用方法を模索するようになり、小さくて丸いものを安く仕入れて手頃な価格で販売する焼き芋専門店を韮崎市で手がけるなど、サツマイモの魅力を伝える活動に力を入れてきたという。

カフェの営業日は金曜～月曜の午前11時30分～午後4時。問い合わせは☎090-6532-4356まで。

台ヶ原宿市にぎわう

310の出店、虎頭の舞披露

骨董やクラフト、盆栽、農産物が一堂に集う「台ヶ原宿市」が、11月16～18日まで、白州町台ヶ原で開催された。新旧一点物との出合いを求め、3日間で延べ約5万人が訪れた。

このイベントは、江戸時代に甲州街道の宿場町として栄えた台ヶ原地区を盛り上げようと、2003年に地域住民が中心となって始めたもので、今年で24回目を数えた。

北は秋田県、南は福岡県など全国から310の出店者が軒を連ね、和洋の古美術品や古道具の骨董をはじめ、陶器、木工、ガラス、漆、染物といったクラフト作品、花卉や盆栽、地元の農産物を販売した。

また、18日には、田中荒尾神社で台ヶ原地区に伝わる「虎頭の舞」が披露された。獅子ではなく、虎が舞う文化は山梨県内では唯一で、同保存会のメンバーが、笛や太鼓の演奏に合わせて「本調子」や「寝起き」といった4演目を勇壮に舞い、観客を魅了した。


田中荒尾神社で虎頭の舞が披露され、多くの観客が集まった

家族葬はセレオ
ご逝去先から直接安置可能な霊安室3室完備
24時間365日受付
セレオホール北杜
北杜市高根町箕輪新町1771-2
0120-282-365

～愛のクリスマス～2026
古澤 巌 × ベルリン・フィルハーモニック ストリングス
2026年12月4日(金)
開場16:00 開演17:00
入場料 前売8,000円(税込) 当日9,000円(税込)
【全席自由席】
会場:アルソア女神の森シンフォニアガーデン 招福ホール陽陽
問い合わせ アルソア女神の森シンフォニアガーデン
☎0551-36-5000（平日 9:00～17:00）
企画制作:NHKエンタープライズ 主催:株式会社アルソア女神の森

ペットのご供養・火葬 ペットセレモニーあさひ
大切な家族とのお別れをご一緒に
お寺が運営する韮崎のペット葬送専門店です
詳しくはこちら
移動火葬車にて出張のご供養にも対応いたします
☎0551-37-4054
（受付 10:00-16:00）
韮崎市旭町上條南割3022

大泉町石堂交差点近く
www.pika1-dc.com
Pika1 ぴかいち歯科医院
★土・日曜日 診療しております。
北杜市高根町東井出4986-1378
院長：奥津 光一朗
【診療内容】
歯科一般・小児歯科
口腔外科
【休診日】 月・金・祝日
【診察時間】（日曜は14:00まで）
9:00～12:30
14:00～17:30
お気軽にご相談下さい⇒☎ 0551-46-1101

バリアフリー演劇祭開催

参加者と一体で楽しむ

障害のあるなしに関わらず、手話通訳や音声ガイド、字幕などの工夫によって上演されるバリアフリー演劇祭「ヘレン・ケラー～ひびき合うものたち」が、10月25日、日野春学舎（旧日野春小学校）で行われ、来場者も一緒になって演劇を楽しんでいた。



手話通訳と字幕を使った演劇の様子

開会前のあいさつに立った同演劇祭実行委員会の小松亮太実行委員長は「ヘレン・ケラーの数年間を見ていただきながら、少しでも何か持って帰っていただいて、明日からの日常が、皆さんにとって、少しでも温かくなっていただければなと思っております」と紹介した。

このバリアフリー演劇祭は、東京演劇集団「風」を迎えた公演で、「見えない、聞こえない、話せない」の三重苦のヘレン・ケラーが、新米教師とぶつかり合いながら成長する物語を紹介している。

当日は、公開リハーサルが行われ、音声ガイドや手話通訳などがあること、舞台がどんな広さで、どんな仕掛けがあるかのほか、出演者が登場し、「皆さんにも応援者、出演者になってもらいたい」と、来場者も一緒になって参加できるように声を出す練習をした。

公演では、新米教師のアニー・サリバンの生い立ちやアニーとヘレン・ケラーの出会い、体でぶつかり合いながら意思疎通を図ろうとする2人の迫真の演技が披露され、惜しみない拍手が贈られた。

八ヶ岳高原ハーフマラソン

紅葉の高原を快走

清里の森前から八ヶ岳高原ラインを走り、小荒間交差点で折り返して清里の森でゴールする全長21・0975㌔の八ヶ岳高原ハーフマラソンが、10月25日に開催され、1000人以上が参加し、紅葉が広がる秋の高原を走って汗を流した。


一斉にスタートしたハーフマラソン

このハーフマラソンは、昨年から始まったもので、ハーフや10㌔・5㌔コース、ファミリーコースの4つのコースが用意され、また、今回は、山梨学院高等学校駅伝部の生徒も参加した。

当日は台風の影響もあり、どんよりとした空模様で霧が広がっていたが、オープニング会場では甲斐の国小粋によるよさこいや高根ふるさと太鼓保存会による太鼓の演奏で、イベントのムードを盛り上げた。

開会式であいさつに立った同実行委員会の浅川力三会長は、八ヶ岳高原マラソン大会が実行できることに感謝し、「紅葉も非常にきれいです。今日1日北杜を楽しんでもらいたい」とあいさつした。

選手宣誓には、輿水順彦選手（高根町）が立ち、「アップダウンの大変厳しいこのコース。元気よく楽しく、再びこのゴールに戻ってくることを誓います」と宣言し、午前9時にハーフマラソンの号砲が響いた。

ホウキづくりワークショップ

須玉 遠照寺

須玉町の遠照寺横に植えてあるコキアを使った「ホウキづくりワークショップ」が10月18日に開かれ、参加者12人が大小さまざまなホウキづくりに挑戦した。

コキアの育成は2021年から行われているもので、季節によって緑色から赤色へと変化する様と鶴亀の松とのコラボレーションを楽しんでもらおうと企画された。秋にはホウキづくりのワークショップを開いている。



須玉町の遠照寺横に植えてあるコキアを使った「ホウキづくりワークショップ」が10月18日に開かれ、参加者12人が大小さまざまなホウキづくりに挑戦した。

コキアの育成は2021年から行われているもので、季節によって緑色から赤色へと変化する様と鶴亀の松とのコラボレーションを楽しんでもらおうと企画された。秋にはホウキづくりのワークショップを開いている。

当日は、参加者がコキアの畑に入り、ホウキづくりのイメージに合うコキアを自由に選び、根元から引き抜いてホウキづくりを開始。広がっている枝を整え、麻ひもで固くしばってホウキを仕上げた。（写真）

甲州市から訪れた曽根美佐恵さん親子は、2年前にもコキアのホウキをつくり、使いやすかったことから娘の真奈香さんと一緒に参加。「車庫の掃除や玄関の掃除に使いたい」と話す。

愛知県から参加した花本大祐・和子さん夫妻は、北杜市を訪れたときにコキアを見つけ、ホウキづくりの話を聞いたことをきっかけにして参加。「畑に入ってどれにしようか選ぶのが楽しかった」（和子さん）と話し、車と玄関用にホウキを仕上げたという。また、市内から参加した平出はる代さんは、「（コキアのホウキは）コケのところの落ち葉がきれいに掃ける」と話した。

多様な表現楽しむ

八ヶ岳アートブックフェア

明野町のアート複合施設「ガスボンメタボリズム」で10月11～12日、「八ヶ岳アートブックフェア」が開催された。全国のアーティストや出版社、ギャラリーなどが手がけた個性豊かなアートブックやZINE（自主制作の小冊子）を販売し、多様な表現活動を一堂に紹介した。

八ヶ岳アートブックフェアは昨年に続いて2回目で、今年は約60ブースが並び、絵画や造形、写真、デザイン、言葉など、ジャンルを横断したさまざまなアートブックや作品が展示され、作家と来場者が交流を楽しむ姿が見られた。


会場の中に個性豊かなアートブックや作品がずらりと並んだ

また、アーティストの村田実莉さん、もりたみどりさん、コムアイさんが「手描きのお札に価値はあるのか？」と題したワークショップを開催。参加者は、自由な感性で貨幣をデッサンしたあと、個性や労力といった価値が加わった手描きの貨幣がイベント内のブースで利用できるのか実験し、貨幣の本質や価値の源泉、信頼の在り方などを問い直す企画となった。

また、日本各地の集落を訪ね、その土地に根ざした多様な風景や歴史、様性を紹介しながら、「一つの集落は一つの宇宙とも言える」などと、奥深さを語った。

そのほか、ハンディスキャナを持って地域を散策し、まちをスキャニングする路上表現イベントやガスボンで創作活動に取り組む英国アーティストのパフォーマンスなども行われ、地元の農家も参加して野菜や飲食を提供するなど、自由に表現を楽しむ場として多くの人出でにぎわった。



水素社会で変わる未来

世界的なエネルギー問題解決へ

水素の社会実装を目指し、10月19日～21日まで県内で初めて開かれた「富士ハイドロジェン・サミット2026」（以下：サミット）の2日目の20日、小淵沢町のアルソア女神の森シンフォニアガーデンで「本会議」が開かれ、長崎幸太郎知事と東京都の小池百合子知事の対談や海外の先進事例、京都大学特別教授で2025年ノーベル化学賞を受賞した北川進氏による特別講演など、水素社会を通した将来のエネルギーの可能性について議論を深めた。

知事記者会見

対談後には両知事の記者会見が開かれ、長崎知事は「東京都と一緒になって、また知見のノウハウを積み上げていきたい」と話した。

また、小池知事は「P2Gなど、山梨県の取り組みは現実的かつ発展的であるという風に考えている」とし、「山梨県と連携することは2つの危機を乗り越えていく大きな連携になると思う」と山梨と東京の関係性を強調した。

北川氏の特別講演

特別講演には、京都大学特別教授の北川進氏を迎えた。演題は「持続可能な未来に向けた電子空間の設計」で、北川氏は「19世紀はエネルギーを使う産業革命を行った」と話し始め、「19世紀は石炭、20世紀は石油・天然ガス、21世紀は気体だと考えている」といい、「人類はまだこの気体のコントロールができてない。なぜかというと、気体は簡単に拡散し、そして、すぐに混ざり、薄まり、見えない。非常に扱いにくい」と紹介する。

その課題解決として、ナノスケールの多孔性材料（電子サイズの無数の穴を持つ材料）の仕組みや形、技術を紹介し、次世代の高圧ガス容器「キュビタン」を紹介して、インドネシアでの実証実験を語った。

さらに「再生可能エネルギーを使って空気から必要なものをつくるという流れになる」と話した。

サミット提言・宣言

サミットの総括で田坂広志議長は①水素エネルギーは技術の研究開発の段階を超えており、今後は水素社会システムの創出の段階に進むことを提言する②国際的な協力のもとに世界各国で活躍する水素専門人材を育成することを提言する③さまざまなイグニッション・プロジェクトを進め、国際的な水素市場と産業の創出を図ることを提言するなど5つを提言し、長崎知事に手渡した。

続いて、長崎知事は、①山梨県は水素の製造から利用までを社会の中で動かしてきた経験を、国内外の地域に惜しみなく開く②国内外の地域の技術者や行政の担当者が設置から運転保守までを学び、自らの地域に持ち帰ることができるよう尽くす③それぞれの地域が自らの条件に合わせてエネルギーをつくる取り組みを進めるにあたり、山梨県はその導入を自らの経験を持って支えると述べ、「資源を奪い合う文明から、資源を共につくる文明への転換は、1つの国や地域だけでは成し遂げられません。分かち合い、支え合う資源共創社会をここに集った全ての皆様と共に形にしていきましょう」と宣言した。

このサミットは世界の水素の実証・実装の現場で培われた知見を共有し、各国・各地域が次の一歩を描くための議論を行う国際会議として開かれたもので、アメリカやインド、カナダ、ブラジルなど9カ国と国内13地域が参加。19日には分科会、20日は「本会議」、21日に米倉山電力貯蔵技術研究サイト（甲府市）と株式会社コーセーホールディングス（南アルプス市）の施設を視察した。

2人の知事対談

20日は、長崎知事と小池知事の対談「水素社会はどう実装されるか―都市と地域の新たな連携モデル」が開かれ、長崎知事は「水素を現場でつくり、ためて、使うという知見を積み重ねてきた」とし、25年10月からは東京都の京浜島で、東京都と一緒に都市の中で水素をつくって使う取り組みを行っていることを紹介した。

小池知事は、「（世界的な）気候危機、エネルギー危機がある中での切り札となる水素」と話し、グリーン水素のプラントや水素の製造を5倍に増やすことや商用モビリティをベースに都営バスを含め、FCバス（燃料電池バス）を30年までに150台、商用モビリティを合わせ5000台にすることを目指していると説明。

長崎知事は「それぞれの地域で、自分たちでエネルギーをつくることができれば」と水素エネルギーの将来性と課題について触れ、小池知事は①グリーン水素の経済圏をつくる②技術と人材の育成③水素によるレジリエンス（回復力）強化の3つの連携を具体的な行動へと移すことが重要と話した。



長崎知事（左）と小池知事（中）の対談の様子

農業振興や人材育成

産学官で包括連携協定

北杜市と東京農業大学国際食料情報学部食料環境経済学科、北杜市フードバレー協議会の3者は10月15日、地域経済や農業の発展、人材育成などを目的にした包括連携協定を結んだ。産学官の強みを生かした「実践の場」をつくり、多様な取り組みを本格化させる。

今回の協定は、同大学が昨年、農作業体験のメンタルヘルスに対する効果を研究するため、フードバレー協議会の大塚広夫会長の農場で実証実験を行い、市に成果を報告したことがきっかけ。北杜市の地域課題についても意見交換を行うなか、同大学がコロナ禍で縮小した学生のフィールド研修地の確保を目指していることもあり、よりよい連携を構築しようと締結に至ったという。（写真）

3者がそれぞれの知識や経験、人的資源を生かしながら、農産物の販路拡大や北杜市の地域課題をテーマにした調査、研究による相互交流、学生の農業実習の実施、農福連携の推進などを行うとしており、継続的に関わりながら、地域の発展と人材育成の双方につながる取り組みを進めていきたいとしている。

協定締結式で、同大学食料環境経済学科の堀部篤学科長は、「数年前にも学生たちのゼミ研修で北杜市を訪れたことがあり、農業や食、観光、地域の自然を豊かに学べる場所だと実感した」と話し、より暮らしに踏み込んだ農家実習をはじめ、学生主導のプロジェクトの創出、新規就農やジビエの活用、農産物のマーケティングといったさまざまな専門教員の相互交流などを進めたいと語った。

「高齢化が進み、耕作放棄地なども増えている。大学の知恵や若者の力をかりて、一緒に北杜市の農業や地域の発展に取り組んでいきたい」と話し、フードバレー協議会の大塚会長は、「行政と大学の間に入って大学の求めること、行政が後押ししてくれることを組み立て、新しい視点や考え方を取り入れながら、北杜市の農業が少しでもよくなるよう尽力したい」と語った。



スマート農業体験会実施

自動操舵トラクター

北杜市フードバレー協議会は10月15日、明野町のほ場でスマート農業の体験会を開催した。自動操舵トラクターや全自動式田植え機などの実演が行われ、市内の農業関係者が見学した。

この体験会は、スマート農業の推進に向け、北杜市が来年2月ごろに衛星からの高精度な位置情報を提供する「RTK（リアルタイム キネマティック）基地局」を整備することに合わせて企画した。

RTK基地局は、GPS（衛星利用測位システム）を使った自動操舵トラクターなどが誤差なく正確な作業を行うために必要なもので、山梨県内で自治体が整備するのは初めて。

同日は、農機メーカー関東甲信クボタの協力のもと、自動操舵システムを搭載したトラクターで耕うんや整地、畦畔の形成などの実演が行われ、ハンドル操作の負担軽減やまっすぐ進む技術のサポートを体験した。

市農政課の担当者は、「農業の高齢化や担い手不足が進む中、スマート農業の導入は重要になっている。省力化や作業軽減にとどまらず、創出された余力で新しい付加価値に投資できる体制づくりにもつながるので、市も支援していきたい」と話した。


耕うん作業を行う自動操舵トラクター

須玉町 通仙峡を歩く「増富もみじ祭りウォーク」
2026年11月8日(日)　AM9:30スタート
◆コース：14km・10km（当日参加可）
◆集合場所：みずがき湖ビジターセンター
◆受付：AM8：00～9：00　開会式9：00
◆参加費：1,500円（未就学児無料）
おもてなし券（500円）、参加賞など含む
受付QR
美し森 環境美化活動　ボランティア募集
2026年11月14日(土)　AM9:00 受付開始
軍手、鎌、刈り払い機などをお願いします。
詳細、受付は左のQRコードから
一般社団法人　北杜市観光協会　TEL0551-30-7866

9月定例市議会を報告

中学統合の住民説明会開催へ

9月定例市議会で可決された議案内容などを市民に説明する「市政報告会」が、10月21日、須玉町の須玉ふれあい館で開催され、各町の地域委員や民生委員などが参加した。

同日は大柴邦彦市長が登壇し、補正予算に計上した主な事業などを説明。山梨県のインド訪問に参加したことについて、現地での取り組みや今後の企業立地、観光誘客への可能性を述べたほか、公共ライドシェアの実証運行の開始やスマート農業の推進、国際交流といった市政の状況を語った。

また、市立中学校（甲陵中を除く）8校を2校にする統合計画で、校舎の設置候補地を高根町村山北割の「高根総合グラウンド・体育館敷地」と長坂町日野の「旧県立峡北高等学校跡地」の2カ所とする方針について、11月に住民説明会を開催するとし、広く参加を呼びかけた。

同説明会は、11月7日に長坂町の長坂コミュニティ・ステーション、10日に須玉町の須玉ふれあい館、11日に武川町の甲斐駒センターせせらぎで開催する計画で、開会は午後7時。6日から説明会の資料を市のホームページに掲載し、16日までアンケートを実施することにしている。

また、同日は、デジタル庁デジタル社会共通機能グループ地方業務システム基盤チームの企画官の泉智徳さんを迎えた講演会「デジタル庁の中の人の立場で見えたこと・感じたこと～これからの社会において、デジタルとどう付き合うか～」が開かれた。

泉さんは、デジタル庁が創設された背景から、AIの仕組みやこれまでの取り組み、デジタル化の問題にも触れながら、「デジタルに対する知識と人間力の両立こそが大切」などと語った。

森林害虫を駆除

ナラ類の倒木回避

里山ファンクラブ



害虫の進入穴から薬剤を注入する

子どもたちに自然の樹木に親しんでもらいたいと整備している長坂町の北杜市オオムラサキセンター近くの「森のあそび場」で、ナラ枯れの原因となるナラ菌という病原菌を運ぶ「カシノナガキクイムシ」の被害が確認できたことから、NPO法人昆虫の聖地プロジェクトの里山ファンクラブの関係者が、10月27日に虫の駆除を実施した。

里山ファンクラブによると、7年前に市内でカシノナガキクイムシの調査を行ったときは確認できなかったが、今年に入って森のあそび場内でカシノナガキクイムシの痕跡を確認。調査したところ60本以上のナラの木に被害があることが分かったという。

里山ファンクラブでは、カシノナガキクイムシの被害を放置しておくとナラ枯れし、倒木の危険があることから、園芸用殺虫剤を使って、2㍉ほどの穴に薬剤を注入する処置を行った。当日処理したナラの木の本数は76本に上ったという。

カシノナガキクイムシの駆除活動をした里山ファンクラブでは、「北杜市全域に広がっている可能性もあるので、早めに駆除する対応を検討してほしい」と話している。駆除方法などの問い合わせは左のQRコードから。

白州町で名水まつり

白州町の北杜市白州総合運動場で10月25日、「第38回北杜市甲斐駒の里名水まつり」が開かれた。約40の地元企業や各種団体が参加し、飲食や農産物の販売、地域の自然や名水の試飲体験などを提供し、多くの人でにぎわった。（写真）



ステージでは、市立白州小学校による花笠音頭の演舞や市立白州中学校吹奏楽部の演奏、尾白神馬太鼓の披露のほか、和楽器ユニット「弐鷹」が三味線と尺八、和太鼓で会場を盛り上げた。

健康増進に寄付

地域住民の健康増進や暮らしの充実に役立ててほしいと、明治安田生命保険相互会社は10月14日、北杜市に現金76万7996円の寄付と音声明瞭器「サウンドアーチ」の1台を寄贈した。

贈呈式では、同社甲府支社の久保拓毅支社長が市役所を訪れ、大柴邦彦市長に目録を手渡した。

このサウンドアーチは、低い音や高い音も明瞭に聞こえるよう音声を変換する装置で、電話の問い合わせに対応する職員の声を相手に聞き取りやすくすることができ、市は、介護支援課に設置した。

八峰きらきら祭り

精神障がいがある人の就労や生活を支援するNPO法人八峰会（三枝基治理事長）は10月24日、長坂町のしらかば工房で「第5回八峰きらきら祭り」を開催し、施設利用者やその家族、地域住民など約60人が参加した。

同事業所で製造されている人気のシフォンケーキや手づくり小物の販売をはじめ、ゲーム大会、活動の展示が行われたほか、地域のボランティアグループが津軽三味線の演奏を披露した。

稲刈りを体験

6月に長坂町渋沢の田んぼで、田植え体験をした「一般社団法人八ヶ岳暮らしと文化協議会」（馬場建二代表理事）では、9月27日に稲刈り体験を開き、なれない手つきで鎌を持った参加者が、刈り取った稲を自然乾燥させるはざがけにも挑戦した。（写真）



当日は20人以上が参加し、長雨でぬかるんでいる田んぼに入った参加者は、鎌を使ってたわわに実った稲を一株一株刈り取る体験と同時に、刈り取った稲がまとまったところで稲をはざがけする体験をした。

家族4人で参加した馬場洋子さんは「お米を食べるのが楽しみです」と話した。馬場代表理事によると、「6俵くらいの収穫になると思う。参加している18世帯で分ける」と話している。

若かりし思い出 一冊にまとめる

五十嵐敏子さん

昔の日記や手紙を整理しようと手にしたことで、これまで歩んできたさまざまな思い出が走馬灯のように浮かび、その一端を子どもたちにも伝えたいと書き始めた五十嵐敏子さん（85・小淵沢町在住）が、「八十二歳のラブレター」（もりんちゅ文庫）を発刊した。

八十二歳のラブレターは、四六判の154㌻で1500円（税込）。目次は「英三子さんの夢」や「ローハイドの横さん」、「クシ君と蒸気機関車」、「フルタ君のザラザラした手」、「滝口カレー店・開店せず」など、14編を紹介している。

1960年代の高度経済成長期を背景に、五十嵐さんが歩んできた北九州での出来事や会社を辞めてカメラマンになる夢を抱えて上京したこと、カメラを通した縁によって始まった約40年にわたる交流、友人のその後など、心に響くエピソードをつづっている。

五十嵐さんは「当時のもがいている自分に、『ちゃんと大人になれるよ』と声をかけてあげたい」といい、「息子たちに母がどんな青春時代を過ごしてきたのかを文字で伝えられた」とうれしそうに話している。

八十二歳のラブレター」は長坂インター前のショッピングセンターきららシティ内のブックスセイブンで扱っている。問い合わせは☎32・8132まで。



八十二歳のラブレターを執筆した五十嵐さん

ひまわりの花が太陽を向き
続けるように
私たちはお客様と
食材を見つめ続けます
八ヶ岳の小さなスーパーマーケット
ひまわり市場
HIMAWARI－ICHIBA
営業時間：am9：30～pm7：30
北杜市大泉町谷戸 2008
0551-38-4744
お休みはHP、SNSで随時発信
https://himawari-ichiba.com

ご贈答・お土産に
アップルパイ 八ヶ岳の味
パイの家 M-1
ヨイパイ
パイの家 エム・ワン
代表取締役社長　三井 龍生
〒409-1502 北杜市大泉町谷戸5883
☎0551-38-4181
https://www.pai-m1.com

八ヶ岳地域に
安全と暖かさをお届けする。
Liquefied Petroleum Gas
の専門店・・・
自社だけで…
プロパンガス販売
ガス・石油器具販売
ガス配管工事
ガス配送、安全点検
…出来る会社です。
プロパンガスの
(有)岩下商事
中央線　長坂駅正面
☎0551(32)2527

八ヶ岳・泰雲書道美術館
江戸末期の儒学書家柳田正斎、書家泰麓、泰雲と続く書法一家の三代目。泰雲の作品を中心に展示をして居ります。
北杜市長坂町小荒間一九一九　電話三二・六二七七
甲斐小泉駅下車・八ヶ岳側　十時～十六時まで開館
毎週金曜日～日曜日開館　開館日以外は予約制
入館料一般　千二百円・高校生以下　六百円
開館期間　四月一日～十一月二十五日
http://www.gakusho.co.jp

柳田 青蘭 主宰
学書院八ヶ岳書道教室
泰雲書道美術館研修室　電話 三二・六二七七
書
初心者から師範資格取得まで自由に、楽しく学べる教室です。
・火曜クラス（月3回）1時～4時
・木曜クラス（月3回）1時～7時
・土曜クラス（月2回・学生）1時～4時
・通信部
Challenge calligraphy!
Why don't you learn
Japanese culture?
Come and join us.
Lesson/ Saturday
(twice a month)
For details please E-mail us.
E-mail: taiun@io.ocn.ne.jp

甲斐源氏祭り開催
須玉ふれあい館

武田信玄の祖・新羅三郎義光が若神子城を築いたという伝承にちなんで開かれている「第37回2026須玉甲斐源氏祭り」（丸山秀明実行委員長）が、10月18日、須玉ふれあい館を会場にして開催され、青空が広がる中、多くの来場者が秋の一時を楽しんだ。（写真）

当日はふれあい館駐車場を会場にしてジュニアバンドの演奏をはじめ、須玉保育園・南部こども園の園児による遊技、須玉中学校吹奏楽部などが披露され、会場内xにはキッチンカーや飲食コーナー、クライミング、高所作業車の試乗体験などが行われた。



八ヶ岳自然散策
八ヶ岳自然クラブ

ハナイグチ

キノコは菌類の「花」です。胞子を撒くために生えます。キノコが出た地面や樹木の内側には、菌糸がびっしり張り巡らされています。

生きた樹木と共生する「菌根菌」は、時にマツタケのような人工栽培できない美味しいキノコをつくります。八ヶ岳周辺でよくみるキノコでは、タマゴタケやハナイグチが菌根菌です。

写真はハナイグチ、別名を「ジコボウ」の名で親しまれる美味しい食菌です。菌根菌は植物の根とつながり、栄養交換して共生します。ハナイグチの場合はカラマツと共生します。

菌根ネットワークを介して、森はひとつの生命体のようにつながっています。栄養交換だけでなく根を病原菌から守ったり、親木から得た栄養を幼木に分け与えたり、害虫に襲われた木からの警報を他の木に伝えたりします。

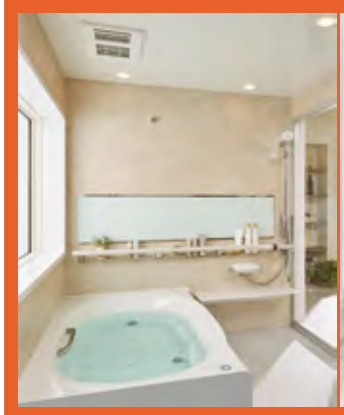
（文・写真　大園たみよ）

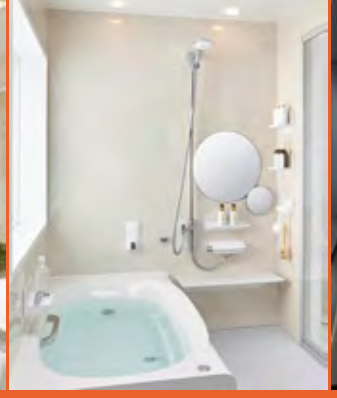


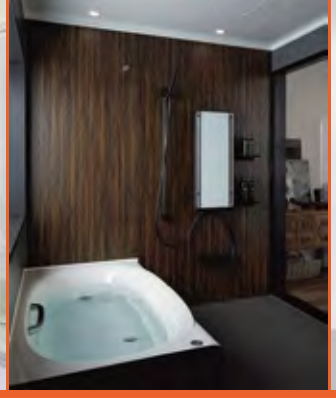
11月7日(土)11:30~17:00
銀座 山形屋 TOKYO SINCE 1997
オーダースーツ販売会
MEN'S STYLE
Order Suit Fair
1着で叶う、2つの表情
CASUAL STYLE
MEN'S STYLE MODEL COLLECTION
Italian Classic
New British
High Standard

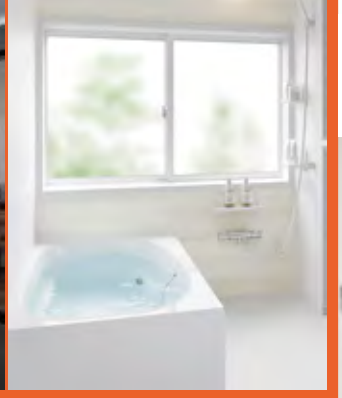
こたつふとん・こたつ用品・羽毛ふとんの事なら豊富で安心品質、安心価格の当店へ
ぽかぽか セール
11月1日(日)~30日(月)
「こたつ」は優れた省エネスタイルです。
ひとくらアドバイス
こたつ用品の事なら…圧倒的な品揃えの当店に
当店は安心の税込み価格です。
当店特選特注納仕様
中綿に綿混わた使用 保温力アップ!!
お電話でのご注文もお気軽にどうぞ。
中綿に良質な綿を使用 保温力さらにアップ!!
こたつ上掛け 3,500円 4,500円
長座布団カバー 1,280円
他にも沢山のこたつふとん等取り揃えています！
長座布団 当店特選特注納仕様 日本製 68×105cm 3,498円~
こたつ布団カバー 1,490円 各種特価
羽毛ふとん特別特価 限定3枚限り
日本製推奨品 39,900円
ハンガリーダックダウン ダウン90%1.3kg入り 2層ツインキルトで暖か
暖か寝具特売中！
各種カ-ペット特売中！
健康・快眠体感フェアー
THE KANJIN BELT カンジンベルト
超遠赤岩盤セラミックス オリジナルレアメタル
メディカルホールド シリーズ
HOLMIC EARTH ホルミック・アース 五大鉱石Super5
ラドン岩盤温熱療法 整体睡眠盤 ラドンマット
まいにち伸びる人 まいにち骨盤矯正
11月/8日(日)~9日(月)
今月の定休日:11日・18日の水曜日
ファッション・シャディギフト・寝具 やまもと シャディ
山梨県北杜市高根町村山東割715-1
TEL 0551-(47)-2041(代)

寒気到来前に対策しませんか？
キャンペーン 本体価格より15万円OFF!
※省エネ補助金まもなく受付終了。活用はご相談ください。


Bタイプ


Mタイプ


Hタイプ


Cタイプ

便利アイテム お風呂場に「あったらいいな」が付けられます


エスコートバー


マグネットアイテム


丸洗いカウンター



入浴前からあたたかい
約3分で20℃
換気乾燥暖房機

Instagram

土地・建物・建築設計・リフォーム
エコ・長期優良住宅提案
(昔からの土壁の原理、エコ快適住宅 WB 工法)
(高気密・高断熱・省エネスーパーウォール工法)
太陽光発電システム
★建築資材販売と工事
アルミサッシ・ユニットバス・キッチン・トイレ・洗面台・外壁や屋根の張替え・外壁や屋根の塗装工事・クロス張替え・障子張替え・畳替え・照明交換・鍵交換・網戸張替え・ガラス入替え
★エクステリア
門扉・フェンス・カーポート・ガーデニング・物置
★防犯・エコ・安全関係製品
防犯製品・防犯硝子・煙感知器（取り付け致します）・LED 及びエコ照明提案

人と街を、沸かせよう。
NAGASEKI
ナガセキトーヨー住器(株)
TEL0551-32-3511